

会議録	
名称	令和3年度6月 富士見市図書館協議会
開催日時	令和3年6月25日(金) 午後1時45分～3時
場所	中央図書館 視聴覚ホール
出席者	<p>○図書館協議会委員 出井隆志委員長 檜山美智子副委員長 小森和雄委員 辻口幸恵委員 野瀬武博委員 野澤節子委員 渡邊知広委員 木村多喜雄委員 金高陽子委員 伊垣容子委員</p> <p>○教育委員会生涯学習課 深迫課長 堀副課長 古川主査 石井主任</p> <p>○図書館 長谷川中央館館長 田畑副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p> <p>○指定管理者 (株)図書館流通センター 東日本支社埼玉営業部 服部</p>
欠席者	なし
公開・非公開	公開
傍聴	1名
次第	<input type="checkbox"/> 図書館協議会について <input type="checkbox"/> 委員長・副委員長選出 <input type="checkbox"/> 各館事業報告(令和3年度5月活動報告) <input type="checkbox"/> その他(以降の日程)
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見市図書館協議会 令和3年度6月定例会次第 ・図書館協議会説明資料 ・指定管理者制度とは ・各館の活動実施報告 ・利用状況 館別・月別推移

会議録確認	出井委員長
議事内容	
<p>1 開会（田畑副館長）</p> <p>2 図書館協議会について 生涯学習課より資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会について 図書館協議会の役割は館長の諮問に応じること、及び図書館の運営や図書館サービスについて館長に意見を述べる機関である。市民の意見や地域の実態などが、行政に反映するように活動し、市民と教育行政をつなぐための役割を担っている。 図書館協議会の法律上の位置づけは、図書館法、富士見市立図書館条例、富士見市立図書館条例施行規則に図書館協議会が定められている。 委員構成について、全員で10名、構成は学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者、公募による市民の方で構成される。任期は令和3年6月1日から令和5年5月31日までの2年間となっている。任期は再任ができ、最長3期6年までである。ただし公募の方は2年間である。 会議の回数は年5回程度を予定しているが、昨年はコロナの関係で1回しか開催できない状況であった。今後も状況によっては回数が少なくなる状況ではある。開催曜日は平日を予定している。報酬は会議1回出席につき3000円。源泉徴収あり、口座振込とさせていただいている。 資料には、これまでの図書館協議会の答申や報告書、提言などが記載しているのでご覧いただきたい。 ・指定管理者制度について 平成15年の地方自治法の改正に基づき、これまで市の自治法人に限られていた公の施設の管理について、民間企業、NPO法人など市が指定する者に管理を行わせることができるようになった。これに基づき富士見市立図書館も指定管理者制度を導入している。富士見市立中央図書館・ふじみ野分館・水谷東公民館図書室については、1期目が平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間で、受託が株式会社図書館流通センター。2期目が平成27年4月1日から令和2年3月31日までの5年間で、紀伊國屋書店・アクティオ管理運営共同企業体が受託していた。サービス業務を紀伊國屋書店、施設管理をアクティオが担う形であった。現在3期目であり、令和2年4月1日から令和7年3月31日まで、TRC・キラリ財団グループが受託。サービス業務を株式会社図書館流通センター、施設管理をキラリ財団が担う形となっている。 鶴瀬西分館については別であり、つるせ台小学校が建設される時PFI事業の中で始まり、平成21年4月1日から令和5年3月31日までの契約となっている。受託 	

者はつるせ台スクールアンドメディアパーク株式会社。図書館運営は株式会社図書館流通センターが担っている。

このような仕組みで図書館が運営されているのでご理解いただきたい。

< 質疑応答 >

委員：答申とか提言が少なくなっているが。

令和元年にあがっているものは検討中なのか。

生涯学習課：記載している物は完了している物である。

令和元年8月7日に『富士見市における子ども読書活動と郷土資料保存活動に資する提言』があり、その他は平成22年から令和元年までの間は特になかった。

委員：子ども読書計画に、提言した部分が含まれていくということか。

生涯学習課：今後はおそらく第4次の中に提言の中身を参考にさせていただくようになる。ご意見は多岐に渡っていたので順次進めていきたいと考えているが、いつ完結するかなかなか難しく、ご理解いただきたい。

委員：資料は公開されていないのか。

生涯学習課：今後、図書館協議会で出された資料については公開していく。過去のものは公開していないが、もしご覧になりたいことがあれば資料はある。

3 委員長・副委員長選出（司会：長谷川館長）

図書館協議会委員自己紹介

委員の互選により、出井隆志委員を委員長、檜山美智子委員を副委員長に選出。

4 各館から事業報告（令和3年5月期）

< 中央図書館 >

・資料に基づき報告

【まん延防止等重点措置】延長に伴い、イベント・外部連携は全て中止。

【利用状況館別月別推移】について、令和2年度の開館状況と利用推移の報告。4月5月は休館しており来館者数・利用者数・貸出数は減少、6月より開館したがサービスの制限があり数字は低いまま推移、1月には再び緊急事態宣言が発令され休館となった。しかし、その中で公共施設受取が6月以降非常に伸びた。巣ごもり需要かと思われる。

< 鶴瀬西分館 >

・資料に基づき報告

5月中もイベントは中止または延期となった。一般映画会、おはなし会、「本探しの名人になろう」（小学生対象）「大人のための折り紙教室」も中止となった。改めて今年度仕切り直しをして開催したいと考えている。

今年度は館内展示に力を入れ、4月より子育て展示、各月おすすめ展示を始めた。

学校連携では団体貸出、ひまわり学級への読み聞かせ、本の紹介を行っている。地域連携としては第6保育所の館内利用があった。

花いっぱい事業として、月2回お花が届いており、利用者の皆さんから「きれいね」というお声をいただいている。それに伴いお花関係の資料も新しく購入し、見たものから本に繋がるよう連携している。

<ふじみ野分館>

・資料に基づき報告

【まん延防止等重点措置】のため、市内公共施設の開館は午後5時までとなり、ふじみ野分館も午後5時で閉館だった。そして、イベントも中止だった。

館内企画展開した「セルビア展示」について、オリンピック目前なので、子どもから大人までオリンピック・パラリンピック選手に「応援メッセージ」を書いていただいた方には、市からいただいた特製缶バッジをプレゼントした。カウンターで利用者様にお声がけすると、ほとんどの方が富士見市がセルビアのホストタウンになっていることをご存じだった。結果大人41枚、子ども137枚集まった。今回ふじみ野分館の初めての試みとして、図書館のホームページでも応援メッセージの台紙をダウンロード可能としたが利用はなく、ホームページでの発信については今後の課題である。

館内展示では通常の展示のほか、ミニ展示として毎月3つ程その時に話題になっているものに焦点をあて展開している。小さい館は資料も限られているので、いろいろな角度から資料を紹介していくようにしている。

連携事業として引き続き、子育て支援センターにこここ広場と慶櫻ふじみ保育園に絵本お届け便をしている。

【質疑応答】

委員：報告書は全館で様式を揃えてほしい。

中央図書館も展示が素敵なので、報告書に載せてほしい。

報告から利用状況についても利用が戻ってきていることがわかった。

<西分館の報告について>

展示を増やしたとのことだが、利用者からの意見で増やしたのか？

図書館：自主的に増やした。

委員：利用者からの意見で改善したというものはあるか。

図書館：昨年度、夕刊を入れてほしいという要望があり検討した結果、今年度4月から鶴瀬西分館とふじみ野分館で入れたと言う経緯はある。

委員：<ふじみ野分館の報告について>

応援メッセージは選手団に進呈はあるのか。

図書館：ファイルして、市のオリパラグループにお渡ししている。

委員：中央図書館の入口展示は市民の皆さんにぜひ見てほしい。児童書コーナーの飾りの工夫、その資料の案内も見てほしい。

ふじみ野分館はセルビア応援メッセージのカウンターでの声掛けについて、館の個性としての働きかけを感じた。また、どんな思いで事業をしているか知る事ができた。

図書館：今後も小さい館の特徴をいかしていきたいと思う。

委員：電子図書館について、小学校中学校に PC やタブレットが配布されているが、それとは連携があるのか。

図書館：まだ特には決まっていないが、アクセスすると見える環境になると思う。

電子図書館は市内在住、在勤、在学者が対象。図書館のホームページからも電子図書館にとべるようにしている。

委員：学校には電子図書館のオリエンテーションを行う予定はあるか。

図書館：やりたいと思っている。

学校によってタブレットの運用が進んでいる所と、まだな所がある。ゆくゆくは図書館を案内するような動画をあげ、図書館見学にきた小学生に見せてあげられたらと思っている。

委員：図書館運営は富士見市としてどういう指針に沿って行われているのか、方針内容や全体像がわかる資料があるとよい。

生涯学習課：今回全体像が見えない中ではじまったので、いろいろな疑問があると思う。中央館長とも相談し、次回全体像が分かるものを上げていきたいと思う。

委員：利用状況館別推移表について、公共とは鶴瀬公民館とかを指すのか。

図書館：鶴瀬公民館を含めた9つの公共施設全体の数字となる。

緊急事態宣言で予約資料の受け渡しだけになった時、公共施設での受取が増えた。図書館で棚を眺めて本を選べるような状況になると公共利用は落ち着いて、実際に図書館で本を選んで借りていくという方が増えている状況を実感している。

5 次回開催日程について

令和3年9月17日 金曜日 午前10時からとする。

4. 閉会